

滋賀県断酒同友会第35周年記念大会 三光病院 市川正浩院長の講演
演題「□ □ 山風蠱(さんふうこ) (女性は幹なり)」

於：甲賀市あいこうか市民ホール

市川正浩先生の講演 前編



えー、過分なご紹介有難うございます。とりあえず35周年おめでとうでございます。えー、この□ □ 山風蠱というのはこう4千年前から、中国に伝わっている易経ですね。そこから18番の、1番から64番までありますが易経は。んーん、18番目の卦です。えー、これはあのう昔から非常にこう何と言いますかね、こう、了解しがたいというか、あのうピンと来ないような所があるんですけども、私自身の人生からいいますと、これが一番ピンと来るんですね。えー、アルコール依存症との関りもこれであったと思います。えー、今こうして滋賀県に来て見ますと水口病院、岩倉病院、或るいは安藤先生の医院、そういう色々な病院、私知ってますが、私は大阪の七山病院が精神科医としての出発ですね。えーそこで色々な先生方との出会いがあって、今現在に至っておるわけです。えー、豊郷病院の先生も同じ頃に私が七山病院に同じ病棟に勤務させて頂いた関係上、未だに長い間付き合い合っただらうと思っております。えー、この医療センターも滋賀県の医療センターでも10年程前にアルコール教室という事で一度、一時間ほど喋れという事で喋らしていただいた経験があります。えー、今日は45分という事で2時10分位まで喋りたいと思います。えー、この□ □ 山風蠱というのは要するに太陽があると、いつもガンガン、ガンガン、照り輝いておると事でありましてけれども、それは150億年も輝き続けるのかもしれませんが、それを受け止めるものがないといかん。それを受け止めるものが地球であり、その地球の大地であり、皆さん方女性であるわけですねえ。男というのはねえ、まあ今まで皆さん方聞いておられたように大した事はないんですよ。男いうのはすぐ死ぬ。で、女の方は長生きする。んーん、そういう事で、それはハッキリしておるんですけども、まあ私の男から言わせたまたら、幾らどんなに病院経営をやったところで、どんなアルコール研究所造りましたと、どこどこにクリニック造りましたと、言ったところでそんな物はいずれ滅びる訳です。でえ、滅びてしまった結果ですね、男はワンマン、そして塵と消えるわけです。女の方は幹ですよ。えー、□ □ 山風蠱というのはそういう意味での根本です。大地に根を張る幹の事を□ □ 山風蠱と言います。政治学で言えば、いわゆるどこどこ党の民主党の幹事長であるとか、それから自民党の幹事長であるとか、これが□ □ 山風蠱なんです。幹事長がしっかりすればその政党は上手くいく。んーん、そういう事で家

庭でも女の方がガッチリやっておれば上手くいくんですけども、中々この病気はそうはいかん。先程の倉田さんの話にもありましたように、もう旦那は惨めなもんですなあ。もうどうしようもない。追い込まれます。そらあ、自分の汚した下着が自分の頭の上に落ちてくる。(笑) もう大変な事態になっとるわけです。それでも男の方は耐えなきゃいけない。自分のしでかした事ですからね。耐えなきゃいけないんですが、所詮、我々男というのはやれ事業や、会社経営や言ってますけど、それは表向きでそれだけの事ですわ。本当の所はそうではないんですけれども、結局男というもんは非常に侘びしいもんです。えー、そのところがアルコール依存症の根本問題なんですね。私から言わすと。だから、断酒会もですねえ、家族というもんがどれ位重要かというのが皆さん方分かっておられますし。特に私の論理から言えば、娘さんのおる家庭っていうのはまず100%酒止めますね。100%です。でえ、それは止めれない人間に問題があるわけです。一人もんでも半分は止めるわけでしょ。で、奥さんがおる人達は7割ぐらいは止めて行くわけですねえ。私の論理から言えば。そうすると娘さんがおる家庭っていうのは99%止めますわ。まず、印で押したように止めますね。でえ、最初出会いの時に私は必ずカルテ見る時にえー、家族構成を見ます。で女の方がいるっていう事が私の中では非常に一番重要なポイントなんです。で、女の方がいるっていう事はこの家庭にとって重要問題になる筈だといっとるわけですね。奥さんはもう女で無いかもしれんのや。(笑) 男の女性いうのは30過ぎたら女かどうかという問題があるけどね。言うたら語弊があるけども。後で訴えられるかもしれん。まあ、私の論理からするとそうかもしれんと。そう言いながら、私の家内はこの野洲出身なんや。この近くですわ。何回も来た事ありますが、あの野洲の出身の女ですわ。あの臭い鮎寿司食べてねえ、ヒイヒイ言うてましたけれども。そういうとこですわねえ。でえ、まあそれはともかくとして、まああっちこっち飛びますけれども、根本的には女の問題があるという事。えー、私は患者さんに出会って女性の、娘がいると。娘がいるんやと。でえ、必ず患者さんにどういう事聞かかいうと、「娘どうや?」と。「可愛いだらう?」と聞きます。で印で押したように男の方は「そらあ、可愛いです。こんな可愛いもんは無いよ。」と20分位喋ってくれる。ここがポイントです。この20分位喋っていただくのが大事なんですよ。私はもう喋らないです。入院患者さんの前ではね。ジーっと聞くだけですわ。ただ娘さんの話を聞く事がアルコール依存症の治療に繋がる事は断じて言える。これをやらないと上手くいかないですねえ。「どうや?」と。「可愛かったらう。」と。「あんたの娘どうや?」と。そしたらねえ、娘可愛がってますから「そらあ、先生可愛いでえ。」こういうわけです。「そうか。」「もう3つ位までは可愛かった。」と。「もう、あなた飲んでたからなあ。あなたの事どう思ってるかわからけど、どう何や、今は。」「今はもう自分の頭の上スカートひるがえして蹴って行ってますわ。」(笑)「学校から帰ってきたら、このおっさん、どこのおっさんや。」って言いますわ。お父さんとは言わなんだんですなあ。どこのおっさんや、こういうふうに言ってくるわけや。だから「あっそう。そうすると娘さんあんた可愛いと思うんやなあ。」と「娘いくつや?」ここが大事なんですよう。娘いくつやと聞いてあげる。そしたらねえ、「18や。」と言うわけや。そしたら私も占めたと思うわけです。□ □ 山風壘と一緒に、18番札所に来たと思ってねえ、しめたと思うわけです。「あ

あ、そうか。あなたの娘は18か。」と「もうすぐ結婚じゃな。大学じゃな。」と「貴方の希望はどういう事なんや。」「酒を飲まん男と結婚して欲しい。」とこう言う。好き勝手言う。

(笑)「そうか、貴方の事どう思っているんや、娘は。」「いや、きっと大事にして来たから、私を大事にしてくれると思います。」すかさずそこで「あんた間違うとる。」と「娘とあんたの奥さんに殺されるぞ。」と一発目。「え！」と言います。「何で娘が私を殺すんや？」それほど娘の心が傷ついているっていう事がアルコール依存症の人達はわかってないん。奥さんも一緒。いつまで経ってもどうしようもない。ところがですねえ、娘の考え方っていうのは全然違うっていうのを頭に叩き込んで欲しい。娘だけは別個ですわ。これはもう別人種。男にとっても、娘だけは親父の事をどれだけ悪口言っても、お父さんは絶対お父さんいうんが確実にあるんが皆さん方分かってないわけ。そこでとんでもない間違いをしでかす。それで次の事に発展するわけです。私は大抵見ておいたら、殺されるケースっていうんがあるんですねえ。えー、女の方が男を殺すケースにですねえ3つ程あるんですが、まあ一つは“2階崩れ型”いうん。また後で説明しますねえ。“2階崩れ型”いうんがある。もう一つは“藁の女型”「藁の女」いう映画あったでしょう。フランス映画かなんか忘れまじたけども、これはシェパードをちゃんと仕込んでですねえ自分の旦那をですねえそのシャパードが殺すいう話や。これは非常に完全犯罪でしてねえ。もともと本人も最後殺されるんですがあ、あー、男は死んで殺した女の方も死ぬんですがあ、現実にはそうはいかんよ、皆さん。男は殺されて、女は生き残る。現実には私、七山病院で最初の症例が、娘と母親がアル中の男を殺したケースから医療始まっているんですからねえ。ですからそれが私のアルコール医療の最初ですわ。えー、と思うたですねえ。娘と母親が男を殺すかという事ですわ。で、お母さんは私が現場検証に行ったら、お母さんはブルブル震えている。障子の影でねえ。娘はピチーッとしてますわ。何事もなかったような顔してますな。で、そこが全然違います、元々。女と、母親と娘の考え方。そこのところ翌々考えて酒を止めていかないと皆さん殺されますよ。(笑)確実にそうなんです。殺される、他殺はされないけど自然に殺される。ちょっと話変わるけどねえ、頼山陽(らいさんよう)の詩にねえ、『京の三条の糸屋の娘、姉は十六妹は十四、・・・』これは讃岐のうどん屋の額に貼っとる。あの一、庄屋に贈ったんでしょうねえ。それから、『京の三条の糸屋の娘、姉は十六妹は十四、諸国大名は弓矢で殺す』と書いとりますねえ、なるほど諸国大名は弓矢で天下取ったのか、ところが最後の句が面白い。『糸屋の娘は目で殺す』と書いておる。アル中と一緒にですわ。大体、皆さん方殺されるケースは奥さんの一言でやられる。男いうのは気が弱いからねえ、幾ら飲んでおっても素面の時は気が弱い。特に素面の時気が弱い。断酒は一生懸命やっておると、断酒して10年目位が物凄く気が弱くなっておる。或いは傲慢になっているか、どっちかですわ。傲慢になっているか？物凄く気が弱くなっておるか？そういう時期にですねえ。娘や、或るいは一番きついのは奥さんですねえ、「あんた酒止めてるだけやないの。」と「何にもせんやないか。」とこういう事でカチンと来る訳です。それでカーン(飲む)といくわけです。カラカラ、コーンですわ。(笑)断酒学校やな。カラカラ、コーンっていうやつですねえ、でキューッと飲んでしまうわけです。で死んでしまうわけですねえ。こういうケースがある。だから、アル中殺すのに刃物はいらんわけ。奥さんの口一つで死んで

る。これを一つ覚えとかんといかんですねえ。だから、口にチャックとか色々出て来る訳ですねえ。もう一つ、“2階崩れ型” いうのはですねえ、これは皆さん歴史の好きな人は宮崎か大分かしないけれど、あの辺の大友総理いうんが2階崩れの変で天下を取りましたけど、女が天下取る時の方法です。“2階崩れ型” いうん。大体皆さん方、2階建ての家住んでおっすですよ、家買ってですねえ、この頃は2階建てが多いわ。アル中の男いうのは大体2階へ追いやられる。で2階で飲んだくれとるわけよ。奥さんは何を考えるかいうですねえ、家の旦那は酒飲んでひょっとしてトイレ起きて行く時にストーンと落ちてくれたらなあ？と思うわけ。(笑) これは落ちてくれたら最高よ。実際、落ちるんですよ。落ちるんだけど、奥さん方は、「あっ、旦那、今落ちた。」で確認に行くわけです。今旦那落ちたと。で、ソーツと覗きに行く。ちょっと寝息がある。ちょっと息をしとる。もうポチポチやなあ。でえ、私知らなかった事にしよう。それで自分も寝に行くわけです。2時間位して見に行くわけです。2時間位してもう一回見に入ったらいいじゃないの。死んでから救急車呼んだっていいじゃないの。ここまで作戦練るんですよ。ここから女は間違う。パッと起きたら布団だけ残とる。ほして、男2階にあがとるわけ。女の悔しい事、「また失敗かあ。」(笑) これを“2階崩れ方” と言う。大体これが多い。男の人のアルコール依存症。大体、それ一回やるとですねえ、ハツとするんよ。俺は殺されかけた。これからは2階から落ちないよ、と。そして障子開けて外に向かって小便するとか、2階で小便するとか、そんな事ばかりするわけです。それで腐ってくるわけです。それで□ □ 山風蠱。虫が3つで皿が1つ。で崩れて行く。ドンドン、ドンドン崩れて行く。大体ねえ、家の中崩れてくるとねえ、醤油だってねえ大体蛆虫だらけになってくるんですよ。うん。私は三光病院、潰れかけの時行ったけれども、まあ、この間、京大の教授辞められた林先生なんかよく、ちょっとだけ常勤やって頂いたんです。常勤やって頂いて、そして昼飯食うて、一緒に昼飯食う時にですねえ「ちょっと醤油持ってきてくれ。」言うて事務員の女の方に言うて醤油見てみたらもう醤油の半分蛆虫だらけだった。そこまで腐ってくる。病院なんか崩れる時早いからね。全くこの通りなんです。薬は売って下さいませぬわ。卸が来ても絶対僕には薬売ってくれん。現金がないから。売ってくれんのか。銀行誰が貸しますかね。患者さん誰も来ない。もう1日5人位の患者ですわ。300人おる入院患者100人位に減ってくるからね。ドンドン悪くなって行く。それが□ □ 山風蠱と言うんですよ。ところがね、これは男の問題なんです。そして土台がしっかりしておれば、女、あなた達家庭の中で土台がしっかりしておればですねえ、崩れない。男が崩れても大した事ない。女が崩れた時に怖い。その時は皆さん方の命ないと思ってください。自分の奥さんどうやと、やっぱり確認とらんといかん。大丈夫かと、しっかりしてるんかと。だから、試し飲みなんかすると偉い事になりますよ。ちょっと試し飲み言うてね、一杯引っ掛けたらもう終わりですよ。それはもう奥さん方にとってチャンス！(笑) 離婚用紙スツと飛んで行きますわ。そらあしたたかですもん。離婚用紙何枚でも書かされたでしょう、あなた達。5枚位書くのはザラや言うてます。香川県の岩崎元会長でもバンバン書いてますからねえ。それでも離婚しませんわねえ、中々。そこはしぶとくいかんといかんですよ。皆さん方絶対離婚したらいかんですよ。続く後編へ

滋賀県断酒同友会第35周年記念大会 三光病院 市川正浩院長の講演
演題「□ □ 山風蠱(さんふうこ) (女性は幹なり)」

於：甲賀市あいこうか市民ホール

市川正浩先生の講演 後編



後編

これがA. Aやとすつと離婚出来ますからねえ。奥さん方、本当に旦那と離婚したかったらA. Aに入った方がええ。すぐ離婚しますわ。ところが女の方は離婚してもですなえ、又、同じ男と結婚するのねえ。A. Aの女性いうのは又同じ男と結婚しますから、又、同じ様な種類と。だから、一緒ですわ。子供もおるのにねえ。だからA. Aの悪口言っている訳では無いですけども、やっぱりねえ、日本の断酒会で離婚しないで断酒会やらないかな。すぐ離婚するんね、簡単にね。上手くいくか？上手くいかんですよ、この国は。ですから、そこをよく考えて欲しいという事。でえ、所詮この易学というのは、又戻りますけれども、元々秦の始皇帝が焚書坑儒(ふんしょこうじゆ[意]:書を燃やし、儒者を坑、生き埋めにする。)で、この本燃やしませんでしたからね。他の儒教の本は全部燃やしたけれども、この占いの層は燃やさなかった。それだけ正しい考え方を持っているという事。未だに私60過ぎてから、今68ですけども、68になってもこの本は手放せませんわ。自分が苦しみ悩んだ時に、ちょっと自分で考え込むんです。絶対、占いじゃない。占いなんかなする必要ありませんわ。サイコロ振る必要が無いわけ。そんな事必要ない。自分の頭で考えたら分かる事や。自分がどういう事になっているか。結論から言うと、一番絶頂な時に地獄の釜が待っとるという事ですわ。病院でも何でもそうです。あなた達もそうです。20年、30年止めた時に危ない。傲慢になる。大抵、傲慢になる。俺は偉いんだと。30年止めてやってるんだと。自慢の断酒、傲慢の断酒や。だから、そういうのでは聞きませんわ。幹部会があるんや、東京でなんかあるんや、いうてスーと東京へ行くけれどもそんなもん意味が無い。本当に何の意味があるんやと。地元大事にせんか！というのが僕の考え方ですわ。毎日例会に行っているのか？リーダー！と。いいな。物凄い問われるところですよ。今の断酒会はちょっとそこが弱いな。各県の理事長見ておるとねえ。その理事長があんまり動いてないんや。いらん事言いますけどねえ。理事長が動かない限りねえ、断酒会は発展せんのか。それどうするんやと。皆さん方、自分に問うべきですなえ。恐らく今の理事長、各県の理事長クラス、私より回数少ないん違うか？私の方が県外研修多いん違うか？私は年に13回くらい行っておるけど、皆さん方少ないん違うか？と

いう考え方になる。だから、決めた事をやらんといかんわけ。だから絶好調の時に絶不調の波が、ジーっと易学的に言うと□ □ 山風蠱や。絶好調の時に地獄の釜が待ってますわ。危ない。ほで、最初の初心者、倉田さんの奥さんの話みたいの聞いておったらねえ、絶不調みたいな事を言うてるけれどねえ、あれ幸せの第一歩なんや。あれが幸せの第一歩。ガンガン、ガンガン旦那が飲んできて、どうしようもないわと。本当にもうどうにもならんわと。断酒会入ってるのに何年も問題飲酒しながら断酒会出とると、要するにこんな旦那死んでしもうたらええんやと。私は悪く無いという時に限って、実は幸せの種が入っておるんや。これが中々ねえ、日本人は分からんのか。ところがねえ、中国人は分かるとるんや。分かっているからねえ、あれで盆踊りできるんや。中国人なんか私から言わせたら、世界中の爬虫類や。(笑) あれは強い。尾っぽをボンボン、ボンボン切ったところであれはグーと生きている。漢民族は2回も3回も他の民族から征服されてるんよ。元という国がそうやろう。清王朝がそうやろうつい最近まで。ズーと彼らに支配されておっても平気ですわ。ああ、そうか。ああ、そうかですわ。天主が変わっても平気なんや。もう中国人は目の前の自分の幸せがあつたらええというところがありますからねえ。爬虫類って言われている。この頃、人類の爬虫類とは漢民族の事を言う訳や。そういう風に歴史の本に書いておる。ああ、なるほどなあと。我々も見習わないかん。断酒会はそれを見習わないかん。尻尾切られようが、頭切られようがそんなん平気や。奥さんに殴られようが、もう首絞められようが、止めなさい。そしたら必ず成功しますわ。そうすると、違う手が待ってますわ。そうすると貴方たちは全然違う世界に入っていきますな。それは私は実践しておるから何となく分かりますな。あの病院がああ無茶苦茶な病院がなんで今あんな風になるんかなあと思うと、やっぱり女性をたてますからね。(笑) うちの看護婦さんの言う通り。「ハイ、ハイ、ハイ、ハイ。」もう言う事聞かんといかんです、男は。もう婦長がちらつと言うたら「ハイ。」って言うといたらええ。もう絶対反抗したら駄目ですよ、皆さん。「先生、ちょっと二日酔いしてるの違いますか？」と「申し送りで二日酔いで来なさんな。」と婦長言うでしょう。それでピターッと酒止めて、50の時や。うん、18年止めておる。ああ、しんどい。しんどい。一杯やってやろうかあと思うんやけどねえ、これ断酒会効果やから飲めんの。一杯目が飲めんの。だから非常にありがたいなあと。飲んでおるうちに従業員80人おって、私が院長になった瞬間から、病院出勤したら誰もおらんの看護婦が。「どうしたんや?」「いや、婦長以下、全部ハローワーク行ってます。」言うんですよ。(うあー) あつたま来てねえ。ああ、そうか。しょうがないわねえ。それから僕は50歳の時に総婦長に言われました。「先生、ええ加減に酒止めたらどうですか?」クソツと思うんですよ。俺まだアル中やないで、しらきとるわけや。危ない危ない。それ言われたらねえ、それまだ飲んでおるわけやあ。そういうねえ、心理状態だから、これは上手くいかん。で50歳で酒止めて、今従業員400人近く、40人が。だから、なるほどなあと。今患者さんも400人近くおりますわねえ。もっと、おるかもしれん。そういう感じでそれとなく上手く行くわけだけれども。ところが断酒会に出て無かったらどうなったか言うとな、もうお山の大将でしょうねえ。それだけで終わりですわ。「一体何があるんや。」と「何が残るとるんや?」と言われて、何も残ってへん。私は断酒会というものを外したら

何も残ってないと思いますよ。断酒会のお陰で僕は易学も学ばせて貰った。人間の生き様というものを教えて貰った。人間というのはそういう意味で、・・・ゴメンナサイ。3時10分の間違いでしたけれども、(笑)今頃気が付いた。計算間違えた。この時計数字が入ったらねえ、(笑)計算間違えとるんです。さっきねえ。ポオーとしてるんです。これぐらいの男ですけれども・・・そういう事で考え方としては、アルコール依存症というのは女の方がおれば大体男というのは助かるという事です。だから、皆さん全国の断酒会の方に発信したいのは、或いは全断連の幹部の方に言いたいのは、断酒会は家族からやるべきです。家族から体験発表させれば断酒会、パツと変わります。どんなねえ、こう伸びのない断酒会でも家族からガンとやるとねえ、酒害者がピーンとなるんです。それをねえ、「俺が、俺が。」という奴を先にねえ喋らすと碌な事が無い。特に断酒会の理事長が喋りだしたら終わりですわ。(笑)これは喋らさん方がええんですわ。(笑)それより初心者。家族から始めて初心者や。うちの病院なんか家族喋りだしたら身内の患者“風と共に去りぬ”や。(笑)スウーといなくなるんや。で、本番になって自分の番が来た時に“くちなしの花”や。(笑)全然喋らんからねえ。1分で「一日断酒で終わります。」(笑)「アホか！」ですわねえ。もうちょっと自分の過去を喋れよと。自分の今までやって来た失敗談を喋れよと。ちゃんと過去を喋れと。過去を喋らん限りこれは内省力に何も無い。今日は和歌山断酒道場長が来ておられますけれども、彼なんか言わすと「アル中は死んで何が残るんや?」「内省、反省が残る。」ええ言葉ですわあ。反省しか残らんのか、男というのは。女の方は子供も残して、キューツとこう、人の金は自分の物。(笑)自分の物は自分の物。うちの家内もそうや。こんなですからねえ。(手で抱え込むしぐさ)そらあそういう風に出来とる女の方はこういう風に出来とるキューツと。男いうのはパーっと、根が無いわけ。男というのは花びらパーと散らして終わりや。桜の花みたいなもんや。こんなつまらん男性がやね、断酒会でしか生きていけないのですよ。そらあねえ、アル中であろうと、なかろうがこの断酒会というのは非常に重要な問題でからんでますよ。いわゆる、内観療法という身調べとかね、今でいう認知行動療法とかええ格好して言うてますけれども、所詮断酒会。松村さんが作った断酒会、高知の断酒学校行ってごらん究極のアル中と会うんですよ、私はね。そしたら2代目の西村会長なんて凄くない、体験発表聞いてたら。畑仕事するんに後ろにリュックサックに2本アルコール瓶入れてキューツとチューブ持ってきてチューチューしながらそれでも酒止めるんやもん。(笑)岩崎元会長に聞いたら、あの人もっと酷いんや。上に瓶置いといて、この辺でいうたら信楽焼きか?信楽置いて上にズウーと満々と酒溜めといて、チューブズウーと降ろしといて、で紙の加工をやっているわけや。(笑)でたら無くなったら、チュツと吸うて(笑)奥さん知らんのかやもん。誰も知らんのかや。24時間飲んで。(笑)そういう究極のアルコール依存症を見た時に、私はこの世で究極アルコール、この世で最悪のアルコール依存症を見た時に止まる事を実践して分かった。これは私にしてみたらとんでもないなあ、あれは第40回高知の断酒学校行った時にこの話聞いたんや、私。それから私断酒学校行こうと思った。当時は断酒学校は、松村断酒学校は5月の3, 4, 5日とあったんや。2泊3日きっちり行きました、私。きちっと座りました。今でも右膝痛い。本当はゴルフやけどな。(笑)断酒会で痛いと言っとく訳よ。格好ええか

らなあ。(笑) スキーでやられた肘とかね。色々あるでしょう、ちょっと職業病的なね。僕は断酒会で右膝やられた言うん。その方が格好ええ。そうすると「ああ、そうですか。」言うてるけれど本当は違うん。ゴルフのスウィングが悪い。(笑) そうなんですよ。へたくそやからね、私は。そういう事でやっとなるわけです。人間ていうのはそういう様に色んなやり方があります。ところが最近のアルコール依存症はそういうタイプがない。だから、こういうタイプが出てきたら、ハッとと思うわけですね、私は。今でも最近の高知の患者さんを入れた時、どんな体験発表聞かいうと奥さんに「田んぼ行ってくるわ。」言うて、まあ養子に入ってるんですが、「田んぼにいつてくるわ。」言うんですけども、奥さん「いつてらっしゃい。」言うわけやな。本人はズーと畑へ行くんやけれども、奥さんがちょっと隠れてしもうたら、ポオンとほじくり返したら一升瓶パーと出て来る。もう畑に何本も置いとる訳や。それ飲みながらズーとやって帰ってくる。勿論、帰ってから酒飲んよ。飲むんやけれどももう、畑やってる最中ずっと飲むからね。これはもう“土葬型”と言ってる、私。(笑) “土葬型”なんです。先程の西村元会長の飲み方を“自動販売機作成型”と言っておる。自分で自動販売機作るん。だから、日本の自動販売機なんていうのは、もうちょっとここは深刻な話すると、これはおかしい。これはねえ、甘いもんでもそうです。コーラでも最近ゼロや言うて、シュガーカット言うて、所詮駄目です。やっぱりあれで甘いもん、バンバン、バンバン、自動販売機でねえ、公立病院、国立病院でも大学病院でも行ったら置いてますけどね。これは非常に良くない。幾ら病院機能評価とったあ、あたしは90点言うってもねえ。私から言うたら0点ですわ。この国の自動販売機で患者さんに甘いもんを売っている病院は病院の資格がないのね。だからそれは駄目。だから自分の病院に帰ってみてねえ、自動販売機でも甘い物売っていたら即刻止める事や。アルコールは勿論、御法度でしょうけども。東大でも売ってますよ、アルコールバーがあるからね。四国学院大學行っごらん。昔、アルコールいっぱい売ってましたもん。うん。僕はすぐ四国学院大學の総務の学長に言いましたもん。「これ、おかしいよ。少なくともアルコール入れたらいかんわ、大学生に。一気飲みが流行るよ。又、訴えられます。熊本大学みたいに。昔の三井物産みたいにコンパで訴えられますよ。一気飲みしてね。そんな馬鹿な事は止めときなさい。」と。だから、自動販売機はどっちにしても置いたらいかんの。置くんだったら、水とお茶だけで宜しい。他はいらん。そういう事をやる事から始めてこの国をそこから一隅を照らすや。比叡の偉いお坊さんから言わせたら一隅を照らすや。一灯を照らす事や。その一つの所を照らしてやっていけば断酒会は日の目を見るやろうね。だから、一つは自動販売機の戦略をやって欲しい。いわゆる飲酒運転じゃなしに自動販売機で甘い物、酒を売る事は止めた方がええわ。酒屋さんには悪いけれども。私はその考え方や。絶対良くない。そうすればこの国は恐らくこの辺から良くなりますわ。だからねえ、この国の国会議員は見識がないんや。僕から言わせたら頭悪いんや。総理大臣から眼帯しとるでしょう。パッとマスクしとるでしょう。なんとか一郎さんあれ皆飲んどるからや。飲んでが一んとやるわけ夜中に。「あっしもうた。」言うけれども飲んでるから、夜中にやるからぱっと眼帯せんといかんの、昼の時に。酒の匂いするからぱっとマスクせんといかんの。政治家なら堂々とマスクはずしてやれやというのが僕の考え方やけどそれやらんわね。と

ころがこの国全体がおかしくなっているからようやらの。おかしい国になってる。だから、自動販売機だけ置いたらいかんは保健所も病院も絶対置いたらいかん。うちは絶対置かん。私が生きてる間はやらんと思って、デイケアの患者さんが「先生、置いてください。自動販売機ぐらい。」「あかん、僕が活着ている間はあかん。病院がちゃんとお茶を用意しますからそれを飲んでください。」という事で統一している。そうしないとこの国は良くならんと思いますよ。絶対に駄目ですねえ。ああいう中途半端なこの便利な物を売っていると。やっぱり、ビヘイビア([意]: イベントとそのイベントが実行するアクションが組み合わさったもの。)として行動を便利としておかしくなっていくのは確実やな、これは。だから、自動販売機も病院へ帰って監査なんかに行くでしょう。監査なんかもするんや、私ね。県知事の命令で。そうすつと、まず自動販売機の数、どこどこ病院と数えるんや。100個以上あるとこあるよ。精神病院で100台置いてるところあるんですよ。そんなところでチマチマ稼ぐなよ。正々堂々と患者さん扱えという事ですわ。そんなねえ、事務方のねえチマチマ、チマチマ自動販売機でねえ、自分らの飲み代、いわゆる工面するんかもしれんけれども。そんな自動販売機業者にそんな事言われてねえ、電気の高く付くやつをこんな時に流行りませんわ。自動販売機なんて、止めた方がええわというのが僕の考え方ですわ。もう後、5分で終わります。(笑) こういう事言い出したら切りないから僕は。だからそういう事なんです。だから先程言いましたように、後アルコール依存症、究極のアル中はいわゆる香川県の元会長岩崎さんの了解を得て喋ってますが。彼は“サギ師タイプ”や。もう自分の親しい人が死んだ言うて奥さんから2万円貰ってね。で、香典を2万円貰って、奥さんがどっかの町で「あの人、生きとった。」いう事になるわけや。死んだ事にしてしまうわけ。それで飲んでしまうわけや。それから“粉飾サギ”言うてね、どっか焼き鳥屋行ってですねえ、「俺、金ないんや。2万円貸してくれや。」言うてそのままにしといたら、その焼き鳥屋からハガキが来る。「あんたが飲んだ2万円まだ返して貰ってない。」いうて、奥さんビックリして旦那に2万円渡すやろ。ほしたら、あの元偉い岩崎前会長は1万円だけ焼き鳥屋に払って、後の1万円又飲むんやからな。これが究極のアルコール依存症なんや。だから、皆さんそういう体験してきとる筈なんや。これを“サギ師タイプ”と言います。(笑) そういう事なんです。だから、後はね私みたいな院長がおる。私は、これは女性アメジストが付けたあだ名。よう聞いといてください。“カメレオンタイプ”(笑) 急に變化するから。もう変幻自在。パツと変わるんやな。だからその所になじんで色を出すからね。今日はこんな話と。もうその日に話が変わりますからね。すみません。あっちこっち飛びますけれどもね。私は“トカゲタイプ”。爬虫類やな、私も。中国系や。“爬虫類タイプ”ですわ。ですから中々死なない。死なないから又次の事をやろうと思うわけ。この5月の末に病院の近くの庵治町いう所に「アルコール医学研究所」を造りました。うーん、ここで又別の仕事をしようと思っっています。臨床はやりません。臨床はやりませんが研究所を造って、そこの初代名誉所長を岩崎元会長にやって頂いて任命式も終わりました。以上です。終わります。(大拍手)